

Social medical corporation hokuto

★広報誌★

ほくと7

seven

79

VOL.

9月号

<http://www.hokuto7.or.jp>

特集

乳腺・乳がんセンター





診療科紹介

乳腺・乳がんセンター



乳腺・乳がんセンターの技師・看護師は全員女性で構成されており、安心して受診してもらえるような環境を心がけています。乳がんの罹患率が高くなる40歳代以降の女性は、自分のことよりも家庭や仕事のことを考えてしまう年代でもあるかと思えます。胸にしこりがあるって病院に行きたいけど仕事や子育てが忙しくて行けない…という方も多いのではないかと考え、2018年1月から第2・4土曜日の診療を始めました。

乳がんの検診・診断・治療では、乳腺密度測定ソフト(Volpara™)、自動式乳房超音波装置(ABUS)、乳房専用PETなど最新の検査機器を使用し、病理・遺伝子診断科、腫瘍医学研究所と連携することで、乳がん患者さまひとりひとりに最適な治療を提供できるように努めています。

(乳腺外科 医師 鈴木 恵)

痛みの少ない乳がん検査

北斗病院の
PET乳がんドック

検査に関するご予約・お問い合わせ

北斗検診センター

直通TEL **0155 47-7777**

●受付時間／平日▶9:00~17:00



第12回 **乳がん講演会**

乳がん触診模型展示と各種体験ブース

※詳しくは裏表紙をご覧ください

園芸療法12ヵ月 13



十勝自立支援センター 園芸療法士
介護老人保健施設 かけはし **剣持 卓也**

植物のある環境や植物を育てることを用いて、対象となる方々の心身機能維持、回復に取り組む。日本園芸療法学会認定・専門認定登録園芸療法士。

老健かけはしBlog(ブログ)
園芸療法の取り組みやかけはしのイベント情報等、随時更新。ぜひご覧ください。



9月「ジャガイモの収穫」

9月に入ると、それまで鮮やかだった景色は次第に褪せて、季節は秋へと移り変わっていきます。秋が深まって寒さを感じるようになる前、畑は実りの季節を迎えます。かけはしの畑でも収穫が続き、喜びの多い時期です。この時期に収穫される主な野菜は、トウモロコシ、カボチャ、そしてジャガイモです。いずれも北海道が名産ですが、特にジャガイモは十勝を代表する農産物です。

かけはしでは、今年3本の畝に種芋を植えました。夏場、あまり気温の上がる日が続きましたが、葉はしっかりと繁り、8月の終盤には収穫適期を迎えました。そして、空が良く晴れ渡ったある日、園芸療法プログラムでジャガイモ掘りを行いました。クワを入れると、綺麗な肌のジャガイモがほろほろと姿を現します。順番に畑に入ってイモを収穫していくのですが、この辺りで暮らしてこられた皆さんは自宅でジャガイモを育てておられた方も多く、夢中になってイモ掘りを楽しんでおられました。イモは収穫用コンテナに溢れるほどの豊作で、まずはじゃがバターにして食べることで意見が一致しました。

季節の移り変わりや、大地の実りをすぐ側に感じながら暮らしてこられた方にとって、こうした活動は他に代えがたい喜びです。先月完成した北斗福祉村ガーデン星の庭でも、多くの喜びを提供できるよう活動を進めたいと思います。

研修医日記 Vol.2

今村 隆史



京都祇園祭の山鉾巡行で
船鉾を曳いている今村先生



チューター／麻酔科 医師
山縣 文先生

研修医の今村と申します。京都から来ました。趣味は旅行と写真で、大学在学時より北海道に訪れることがたびたびありました。そこで、北海道の豊かな自然に囲まれた人々の暮らしに触れ、この地の医療に貢献していきたいという思いを抱きました。この度縁あって北斗病院で働かせて頂いております。市街での生活は日々新しい発見の連続です。市街地でキツネを見かけたりするだけでも、僕にとっては驚きでした。帯広は京都とは文化も街の成り立ちも全くといって良い程違います。しかし、住んでいる人たちの優しさはどこにいても変わらないのだと実感しております。皆さまどうぞよろしく願っています。



乳腺・乳がんセンターにおける個別化検診と個別化医療について！ 乳がんのことは私達にご相談ください。

乳腺・乳がんセンター
センター長

川見 弘之

北斗病院 副院長

広島大学医学部卒。広島大学医学部付属病院勤務を経て、北斗病院に2000年4月入職。日本外科学会専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医、日本乳癌学会 乳腺専門医・認定医

乳腺・乳がんセンター
医師

鈴木 恵

北斗病院 副院長

浜松医科大学医学部卒。初期臨床研修後、北斗病院に入職。昭和大学病院で研修し、2014年から北斗病院、乳腺・乳がんセンター乳腺外科医として勤務。日本乳癌学会 乳腺専門医・認定医

—乳がんについて

鈴木:乳がんは女性のかかるがんの第1位で、11人に1人が乳がんになると言われていますが、死亡の原因となるがんでは第5位と順位が下がっています。早期治療により治癒することが期待でき、そのためには定期的な検診で早期発見することが大切です。40歳以上の女性に対し、2年に1回のマンモグラフィーが対策型検診として推奨されています。対策型検診は日本人全体の乳がん死亡率を下げるための検診方法です。

—「中間期乳がん」とはどのようなものですか？

鈴木:乳がんには、2年に1回の検診でも問題のない乳がんや、2年の間に発生して早く進行する乳がん(=「中間期乳がん」)があります。このような中間期乳がんを早期発見するためにはどのような方法が適しているか(検査方法や頻度)、また現在の対策型検診では不十分な人を選別することが重要な課題といえます。

—乳腺濃度について教えてください

鈴木:乳房に対する乳腺の割合で乳腺濃度を分類します。乳腺濃度が高い「デンスブレスト」の場合、マンモグラフィーの画像では乳がんが

腺が重なってしまい、乳がんが見つからないことがあります。検診マンモグラフィーを定期的にしていても、発見したときにはかなり進行していたという場合は、デンスブレストが原因の1つだと考えられます。

—個別化乳がん検診とは、どのように個別化しているのですか？

鈴木:北斗病院の乳がん検診では、1人1人異なる「乳腺濃度(密度)」を考慮し、はじめにマンモグラフィーをおこないVolpara™という乳腺密度測定ソフトを用いて乳腺密度を測定します。その結果、デンスブレストと判定された方(約85%)に対して超音波検査をおすすめしています。超音波検査はマンモグラフィーと比較して、デンスブレストの方でも乳がんのしこりを見つけやすい検査だからです。このように1人ひとりに合った検診をすることで早期発見を目指しています。



Volpara™判定画面。a、b、c、dの4段階で判定する

—PEM(乳房専用PET)による個別化治療の研究をされていると聞きましたが…

鈴木:PETは“FDG”という“がん”に取り込まれやすい薬を使って“がん”を見つける検査で、PEMは乳房専用のPETです。北斗病院では、乳がんの治療で使う抗がん剤の効果について、PEMで早期に判定できるかどうか研究をしています。抗がん剤の効果にも個人差があるので、PEMで早期判定できれば、効果のない抗がん剤を続ける必要がなくなります。

—個別化医療とは何ですか？

川見:がんのステージ(病期=進行度)はどう決まるのでしょうか？ 国際的にTNM分類があり、T(腫瘍の大きさ)、N(リンパ節転移の程度)、M(他臓器への転移の有無)だけで決まります。私が約25年前、大学の病理学教室でがん遺伝子(がんのアクセセル)やがん抑制遺伝子(がんのブレーキ)に関する研究をしていた頃、教室の教授は、『いずれTNM+G分類になる時代が来る』と言われていました。G=gene(遺伝子)のことで、遺伝子により、がんの悪性度も変わります。個別化医療は現在では、がんゲノム医療(がんに関連する遺伝子を調べて治療を行うこと)とほぼ同じ意味で使われています。同じステージで同じがん腫でも、がんには個性(原因遺伝子の違い)があるのです。

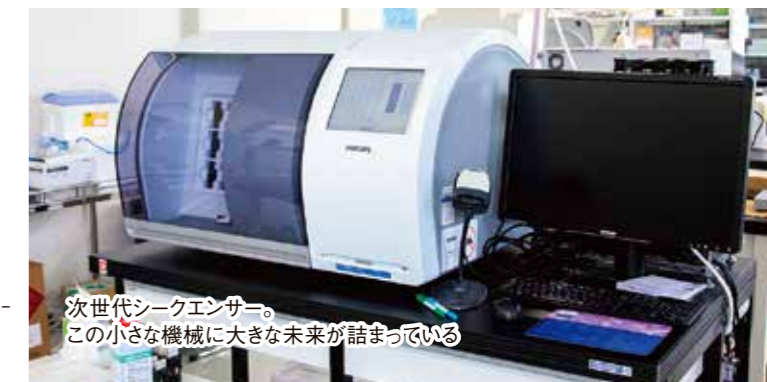
—乳がんでの現状はどうですか？

川見:日常臨床では、ホルモン受容体(ER=エストロゲン受容体、PgR=プロゲステロン受容体)、HER2(がん遺伝子の一種)の発現に加え、細胞増殖率の指標(Ki67)を評価し(いずれも免疫染色法で蛋白発現を調べる)、簡易的に4つのタイプに分けて治療方針を決めています。例えば同じ

ステージでも、HER2陽性のタイプでは、腫瘍の大きさが1cm以上あれば、抗HER2薬+抗がん剤が必要と言う具合です。これらもある意味、TNMによるステージとは別の因子に基づく個別化医療で、乳がんでは既に10年以上前から行われています。

—がんゲノム医療についてももう少し詳しく教えてください

川見:ゲノムとは全ての遺伝情報(全DNA)で、この内蛋白にまで作られるものは、ヒトでは約23000あります(全ゲノムの2%程度)。一般的にがんに関連する遺伝子は40~400位あると言われています。上記のER、PgR、HER2の3因子を持たない乳がんは、“トリプルネガティブ乳がん”と言い、一般的には悪性度が高く、抗がん剤が必要とされます。しかし詳しく遺伝子を調べると、これもさらに6つのタイプに分かれ、抗がん剤の効果が全く異なることが知られています。つまりより詳細にがん関連遺伝子の異常を調べ、それに基づいて治療するのが、がんゲノム医療です。当院では現在、160のがん関連遺伝子の異常を調べる研究を行い、これらのデータを蓄積している段階です。今から19年前、世界中の研究者が10年かけてヒトの全ゲノムDNAの配列を解読しましたが、今や最高機種の子世代シーケンサーを使えば数日で解読できる時代です。将来的には全てのゲノムを調べ、個々人に合った治療(=真の個別化医療または精密医療)をする時代がまもなく訪れるかも知れません。



次世代シーケンサー。この小さな機械に大きな未来が詰まっている

市民公開講座

『放射線治療 がんは切らずに治る時代へ』開催

北斗病院 医療技術部 副部長 加藤 徳史

令和元年8月28日(水)、十勝リハビリテーションセンター3階会議室において市民公開講座が開催されました。演者は、名古屋市立大学大学院医学研究科放射線医学分野 芝本雄太教授です。当日は一般市民ら107名の参加、講演終了後には多くの質問があり、放射線治療に対する関心の高さがうかがえました。

日本における放射線治療の現状

2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんで死亡する時代にある。がん治療に対し放射線治療が何らかの形で利用される割合は、欧米6〜7割に対し日本は3割以下。放射線治療の有効性が日本国内では浸透していない。ドラマやマスコミの影響もあり、手術が一番との考え方が根底にあると推測する。一方で、若い医学生が外科になりたがらない傾向が続き、『外科崩壊』という現実も。さらに、ここ10〜15年で放射線治療装置の性能が飛躍的に向上し高精度

な治療が可能となっている。以上の背景より『切らずに治療する』放射線治療の役割が増え、かつ、期待も高まっている。

X線の発見から高精度放射線治療まで

1895年レントゲン博士がX線を発見した翌年にはX線ががん治療を行った記録が残されている。当時使用したX線はエネルギーが低く、体の表面しか治療効果を望めなかった。その後、コバルト・60のガンマ線が利用されるようになり、体の奥にある病巣も治療可能になった。近年では、コンピュータを駆使した高精度治療が可能となり、ガンマナイフ、サイバーナイフ、トモセラピーといった装置でのピンポイント照射へつながる。特にトモセラピーは治療対象部位に制限が無く、広い範囲へ照射可能な優れた治療装置である。

手術に匹敵する治療効果、最新研究

前立腺がんにおける手術と高精度放射線治療の治療成績(生

存率、局所再発率等)は同等と報告されている。放射線治療では手術と比べ治療後の尿漏れやインポテンスといった合併症も圧倒的に少ない。同様に、食道がんでも放射線治療単独もしくは抗がん剤を併用した放射線治療を行うことで治療成績は手術と同等と報告されている。体の負担が少ない治療法である放射線治療をもっと活用すべきと考える。

名古屋市立大学病院では手術適応の乳がんや抗がん剤が効かなくなった転移性肝がんに対する放射線治療も臨床研究として実施している。十分なデータがまだ揃っていないが、生存率や延命効果などで優れたデータが期待される。

粒子線治療の紹介

粒子線治療には陽子線治療と重粒子線治療があり、共に大がかりな設備が必要である。北海道では、札幌で3台の陽子線治療装置が稼働している。正常組織への放射線量がX線より少ないことが粒子線の特徴である。現状、前立腺がんや小児がんなどが健康保険適応であるが、ま

北斗福祉村ガーデン星の庭がオープン

北斗病院開院25周年記念事業
北斗福祉村ガーデン星の庭オープニングセレモニー

実行委員長 品田 慶太
副実行委員長 剣持 卓也

北斗病院開院25周年記念事業として5月に着工した北斗福祉村ガーデン星の庭が8月に完成しました。そのお披露目として、8月25日に来賓の方々をお招きしてオープニングセレモニーを開催しました。

1週間前の天気予報では当日は雨となっており、気を揉んでいましたが、3日前に予報は晴れに変わり、澄み渡った青空の下でセレモニーが始まりました。



今回のセレモニーにはお世話になっている各方面の皆さまにご臨席賜り、帯広市の堀田真樹子保健福祉部長、帯広市医師会稲葉秀一会長、十勝医師会佐治清副会長、十勝歯科医師会大滝達哉会長よりご挨拶を頂戴いたしました。星の庭における園芸療法や地域共生の取り組みへの期待をお寄せいただき、身の引き締まる思いです。当法人の鎌田理事長からは、四半世紀に渡る法人の取り組みを振り返るとともに、地域医療構想を進めるなかで、地域住民を巻き込んでいくような取り組みをこのガーデンの場を使って行っていく等、今後のビジョンが示されました。

その後、星の庭の設計者(園芸療法士 剣持)から、ガーデンを造成するに至った背景やコンセプト、7つのゾーン設定などについてのプレゼンテーション

を行いました。概要については以下の通りです。

- コンセプトは「セラピューティックガーデン(健康維持に役立つ庭)」とコミュニティガーデン(地域の皆さまとつくる庭)」
- ひとの五感に対し、穏やかに働きかけられるような各ゾーンの設定
- 新たなコミュニティの創造 地域共生社会の実現を目指すための今後の取り組みについて(ガーデンボランティアの養成や多世代交流イベントの実施等)

プレゼンテーションの後、実際にガーデンに出て、記念植樹、ガーデン散策と屋外でのプログラムが進みました。ガーデン散策では、かけはしの特徴である地上と屋上とをつなぐ屋外階段を開放し、各階に設けられた花壇を鑑賞して頂きながら、上からもガーデンの様子をご覧いただきました。そして、ガーデンに設置した薪窯では、満寿屋商店様のご協力をいただき、焼きたてピッツアを提供しました。

まだまだ適応範囲は狭い。今後肺がんや肝臓がんも適応される可能性があるものの、既に保険適応されているトモセラピー等による高精度放射線治療でも陽子線に劣らない治療が可能である。

2005年、日本初のトモセラピーを北斗病院が導入し約14年が経過しました。2017年に機器更新し最新のトモセラピーになっています。今回の芝本教授の講演を聴き、トモセラピーが素晴らしい放射線治療装置であることを再認識しました。

ちなみに、ピッツアに使用したバジルはガーデンに設置した花壇で育てたものです。セレモニーのフィナーレは「わくにこ十勝JAZZオーケストラ」様によるジャズ演奏です。星の庭にちなんで、「星に願いを」のジャズバージョンも演奏してくださいました。当法人の25周年を記念するセレモニーを盛会のうちに終えることができ、改めて、四半世紀に渡る当法人の取り組みへの皆さまのご支援に深く感謝申し上げます。

さて、北斗福祉村ガーデン星の庭はオープンしましたが、庭はこれから時間をかけて風景になじみ、より見応えのあるものへと変化していきます。その経過の中で、地域の皆さまには憩いの場、安らぎの場、集いの場等、様々なご利用いただき、地域の庭としてともに育てていただければ望外の喜びです。なお、星の庭は一般の皆さまにも開放しておりますので、どうぞお気軽にお越しください。今後、星の庭を舞台とした様々なイベントや取り組みも進めていく予定ですので、これからの展開にぜひご期待ください。



第12回 **乳がん講演会** **参加無料**
乳がん触診模型展示と各種体験ブース

2019年**10月5日** **土** 12:30 開場
13:00 開演

十勝リハビリテーションセンター

帯広市稲田町基線9番地1 ※駐車場ございます

お問い合わせ ☎**0155-48-8000(代)**
北斗病院コールセンター [受付時間/平日9時~17時、土曜9時~12時半]



4マップが起動します

プログラム

がんと鍼治療。術後合併症の予防にも。
**あなたの明日のために、
鍼治療が今できること。**
日本鍼治療学会公認
特級 鍼灸師 **谷地一博 氏**

乳腺密度による個別化検診と乳房MRI
**もっと知ってほしい!
北斗乳がん検診の
2つの秘策**
社会医療法人 北斗 特別顧問 **難波清 氏**

体験ブース

※変更になる場合もございます。ご了承ください。

- 1 無料体験会
人数限定!
- 2 編み物
毛糸で作る手作りパット
柔らかな肌当たりです
- 3 アロマを
楽しむもう!
香りでのリラックス
- 4 マシヌマロッチの
ハンドマッサージ
人数限定!
- 5 術後下着
ご試着会
1着約1万円限定
- 6 がん相談
医師がお受けします
●川貝先生 ●鈴木先生
乳がん触診模型も展示

乳がん検診無料クーポン当たるよ!



お気軽にお問い合わせください

すべてのお問い合わせ ☎**0155-48-8000**〈北斗コールセンター〉



- 関連施設
- 北斗病院.....(帯広市)
 - 北斗クリニック.....(帯広市)
 - 十勝リハビリテーションセンター.....(帯広市)
 - サービス付き高齢者向け住宅 あやとり.....(帯広市)
 - 十勝自立支援センター介護老人保健施設 かけはし(帯広市)
 - ほくと自立支援ホーム/あおぞらクリニック.....(帯広市)
 - 上士幌クリニック/介護老人保健施設かみしほろ(上士幌町)
 - 新得クリニック.....(新得町)
 - 熊谷総合病院.....(埼玉県熊谷市)
 - HOKUTO画像診断センター.....(ロシア・ウラジオストク)
 - HOKUTOリハビリテーションセンター(ロシア・ウラジオストク)